

OSAKA BUSINESS DEVELOPMENT

大阪産業局 メディアガイド

MEDIA GUIDE

大阪産業局が
大阪広報局に
なるしかない



公益財団法人

大阪産業局

O.B.D.A. OSAKA BUSINESS DEVELOPMENT AGENCY

大阪産業局

メディアガイド

- | | | |
|---|-------------|-----|
| 1 | 大阪産業局とは | P2 |
| 2 | 団体概要 | P3 |
| 3 | 組織が持つネットワーク | P5 |
| 4 | メッセージ | P6 |
| 5 | 事例集 | P7～ |



大阪産業局とは

大阪府内の中小企業の健全な創出と育成を促すことで、活力ある大阪経済の発展に貢献することを目的に、平成31年4月に府と市の支援機関が合併して生まれた公益財団法人です。



理事長挨拶

平成31年（2019年）4月1日、大阪府・大阪市の産業支援機関である、大阪産業振興機構と大阪市都市型産業振興センターが統合され、大阪産業局が発足いたしました。

創業支援や大阪の企業の99%を超える中小企業の経営力強化などに、私のこれまでの経験を活かし、大阪経済が元気になるためお役に立てばとの思いで、理事長をお引き受けすることといたしました。

大阪産業局が実施する事業やサービスについて、広く周知に努めているものの、コロナウイルス感染症などの影響もあり、活動が制約され、まだまだ広く大阪産業局やその取り組む事業が浸透していないのが現実であります。

広く中小企業の経営相談、DX支援、国際化支援をはじめ、創業・スタートアップ支援、ものづくり企業やクリエイターに向けた支援など、さらには、「大阪・関西万博」を大阪の中小企業にとって大きなビジネスチャンスと捉え、そのチャンスを最大限活かせるよう、努めてまいります。



理事長 立野 純三

昭和22年生まれ。甲南大学卒業後、(株)青木建設入社。昭和48年、(株)ユニオン入社。平成2年、同社代表取締役社長。大阪商工会議所副会頭、(公財)ユニオン造形文化財団 理事長、学校法人甲南学園 理事・評議員、学校法人エール学園 理事、大阪市教育委員会委員長（平成19年～20年）など要職兼務

大阪の中小企業の現状と産業局の強み

大阪の中小企業は、全企業の99.6%(約27万社)を占め、約274万人の雇用を生み出しています。大阪経済の基盤をなす中小企業の発展なくして、大阪経済の発展は実現しえません。

大阪産業局では、業種も課題も違う中小企業の支援プログラムを企画するため、様々な分野の民間企業の経験やスキル、人脈を持ったスタッフを擁しています。この人材と、これまでの支援事業で培った知見、ネットワークこそが財産です。

中小企業や起業家の課題解決のため、創業・スタートアップ、人材戦略、販路開拓、国際化、ものづくり、技術力強化などの支援テーマに対応できる組織構成として事業を行っています。また、府・市の産業振興施策の実行団体として府市とも連携し、時宜に合わせた事業実施のための予算、基金を用いることができる公益財団法人です。

大阪経済を支える中小企業の発展の一助となるよう活動していますので、中小企業・起業家の皆さんに積極的に産業局をご利用いただき、そうした頑張る中小企業の姿をお伝えできればと思います。



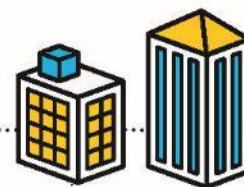
大阪府全体における中小企業の割合
中小企業庁 中小企業白書2020より

	経営相談	販路開拓	技術力強化	新事業創出	創業	国際ビジネス	事業承継	製品開発・マーケティング	設備の新設更新	人材戦略	インキュベーション・貸貸工場	展示場・会議室
企業支援事業部	●	●	●	●	●	●	●	●		●		A
クリエイティブ産業推進部		●								●	●	B・C
HR戦略部										●		D
産業振興部	●						●					A
MOBIO 事業部	●	●	●					●		●		E
設備支援部									●			I
国際事業部						●						F・I
スタートアップ支援事業部				●	●	●	●					G
クロステック推進部		●	●	●	●					●		H
万博共創ビジネス推進部												I
施設運営部											●	A・I・J

【運営支援拠点】

- A 大阪産業創造館 B クリエイティブネットワークセンター大阪メビック C 大阪デザイン振興プラザ
- D OSAKAしごとフィールド中小企業人材支援センター E MOBIO F 上海事務所
- G 大阪イノベーションハブ H ソフト産業プラザTEQS I マイドームおおさか J テクノシーズ泉尾

団体概要



組織概要

団体名	公益財団法人 大阪産業局
主たる事業所	統括室 総務部 マイドームおおさか：大阪市中央区本町橋2番5号 マイドームおおさか7階 大阪産業創造館：大阪市中央区本町1丁目4番5号 大阪産業創造館13階
設立年月日	平成31年4月1日
設立目的	大阪の中小企業等の経営力強化や創業支援等の事業を行うことにより、府内中小企業等の健全な創出及び育成を図り、もって活力ある大阪経済の発展に寄与することを目的とする。
事業	<ol style="list-style-type: none">1 中小企業等の支援に関する事業2 施設の管理運営に関する事業3 その他この法人の目的を達成するために必要な事業
基本財産	2,541,280千円
所在地	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2番5号

役員名簿

理事長	立野 純三	大阪商工会議所副会頭/(株)ユニオン代表取締役社長
専務理事	角谷 禎和	
常務理事	上野山 泰成	
	太田 雄士	
	村上 和也	
理事	多賀谷 元	
	中西 竜雄	中西金属工業(株) 代表取締役社長
	中野 智哉	(株)i-plug 代表取締役社長
	北岡 均	一般財団法人大阪国際経済振興センター 理事長
監事	フォーリー 淳子	大同門株式会社 代表取締役社長
	上田 実千代	有限会社 オフィスウエダ 代表取締役
	三谷 英彰	三谷公認会計士・税理士事務所 代表
評議員	新井 純	大阪信用保証協会 理事長
	井内 摂男	大阪商工会議所 専務理事
	岡本圭司	大阪市 経済戦略局長
	賀川 忠史	大阪府商工会連合会 専務理事
	小林 哲彦	(地独)大阪産業技術研究所 理事長
	辰田 昌弘	辰田法律事務所 代表
	馬場 広由己	大阪府 商工労働部長
	本多 哲夫	大阪公立大学大学院経営学研究科 教授
会計監査人	庄 秀輝	(独)日本貿易振興機構 大阪本部長
	有限責任あずさ監査法人	

団体概要

施設概要



大阪産業創造館

企業経営や起業に役立つ事業、ビジネスセミナーや商談会、交流会など多種多様なサービスで中小企業のビジネスをサポートしている大阪市の中小企業支援拠点



〒541-0053
大阪市中央区本町1-4-5
<https://www.sansokan.jp/>



クリエイティブネットワークセンター大阪メビック

クリエイターと企業とのネットワークづくりをサポート、大阪で活動するクリエイティブビジネスの中核的支援拠点



〒541-0053
大阪市中央区本町1-4-5 大阪産業創造館17F
<https://www.mebic.com/>



大阪デザイン振興プラザ

クリエイター向けインキュベーションオフィスの提供や、セミナー等のイベントを開催。創業期からベテランまで対応するクリエイター支援拠点



〒559-0034
大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビル ITM棟10F
<https://www.osaka-design.co.jp/>



MOBIO / モビオ(ものづくりビジネスセンター大阪)

国内最大級の常設展示場をはじめ、ビジネスマッチング、販路開拓、産学連携相談などの支援を行うものづくり企業の総合支援拠点



〒577-0011
大阪府東大阪市荒本北1-4-17 クリエイション・コア東大阪北館
<https://www.m-osaka.com/>



大阪イノベーションハブ

まだ世の中になく革新的なサービスや、ビジネスの創出に取り組む起業家やスタートアップが集まり世界に向けて挑戦するイノベーション創出拠点



〒530-0011
大阪市北区大深町3番1号 グランフロント大阪
ナレッジキャピタルタワーC 7階
<https://www.innovation-osaka.jp/ja/>



ソフト産業プラザ TEQS(テックス)

咲洲エリアにあるテックビジネスに特化した支援施設。全国的にも珍しい官民連携による5Gラボの運営や先端技術を活用したビジネスの支援を実施



〒559-0034
大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルITM棟 6階
<https://teqs.jp/>



マイドームおおさか

大阪の中心部、堺筋本町にありアクセス抜群の大規模都市型展示場施設。様々な用途に対応可能な多彩な会場



〒540-0029
大阪市中央区本町橋2番5号
<https://www.mydome.jp/mydomeosaka/>



テクノシーズ泉尾

多様なニーズに対応できる、従来の賃貸工場のイメージを払拭させた中小ものづくり企業の為の複合工場拠点



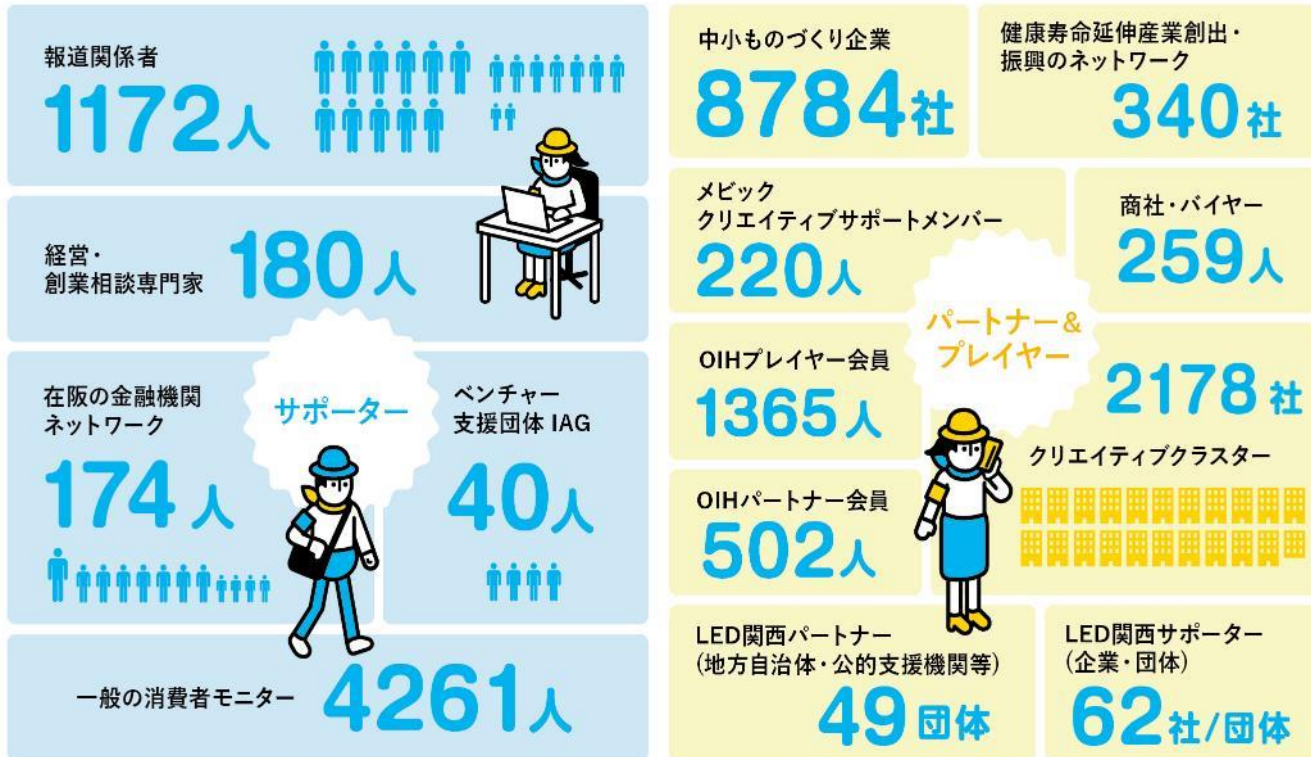
〒551-0031
大阪市大正区泉尾6-2-29
<https://www.obda.or.jp/jigyo/izuo.html>



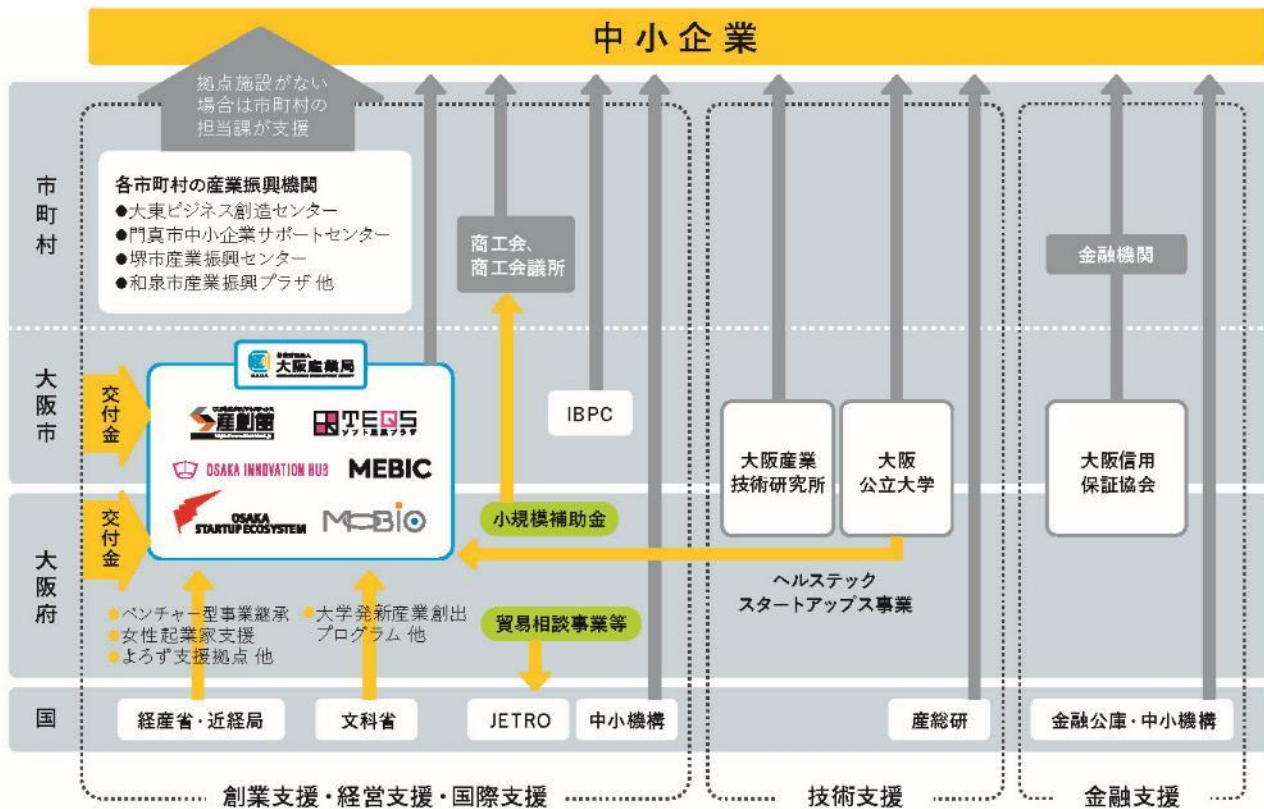
組織が持つネットワーク

2024.3 現在

数字で見る大阪産業局



図解で見る大阪の中小企業支援



メッセージ

大阪産業局の理念



経営理念

グローバル社会の中で、大阪経済の発展をめざし、プロフェッショナル集団として、意欲ある中小事業者・起業家の成長に貢献します。



設立の目的

大阪の中小企業等の経営力強化や創業支援等の事業を行うことにより、府内中小企業等の健全な創出及び育成を図り、もって活力ある大阪経済の発展に寄与することを目的とします。



行動指針

私たちは、「誰のために」「何のために」を常に意識し、行動し続けます。
私たちは、自ら「場」を創り出すチャレンジャーであり続けます。
私たちは、向上心と好奇心を持ち、成長し続けます。
私たちは、謙虚な姿勢で、関わる全ての組織・人とパートナーであり続けます。
私たちは、「ありがとう」を超える「感動」を提供し続けます。

広報スローガン



大阪産業局が 大阪広報局に なるしかない



大阪には、まだ一度もメディアには取り上げられたことのない中小企業が約20万社以上あり、世の中に知られていない事業や製品という”宝物”が数多く存在しています。
そんな、積極果敢に挑戦し続けている中小企業や起業家の方々の努力や切磋琢磨し生み出された素晴らしい製品・事業を、大阪の中小企業の「広報担当」として情報発信し、一人でも多くの方々に知って頂くことが私たちの役目であると考えています。
それがきっかけとなり、中小企業や起業家の方々の更なるモチベーションアップに繋がり、人と人が繋がり、大阪経済の発展や一歩先行く大阪の未来に貢献したいという想いでこのスローガンを選びました。
マスコミ関係者の皆様におかれましては、この機会に産業局の取り組みを、お知りおきいただき、ともに大阪の活性化のためにお力をお貸しいただければ幸いです。



NEWS LETTER

01

2025年大阪・関西万博 「展示・出展ゾーン」の企画・運営



#大阪・関西万博 #展示・出展ゾーン

2025年大阪・関西万博に向けて、公益財団法人大阪産業局と大阪商工会議所は、共同で「中小・スタートアップ出展企画推進委員会」を設置しました。大阪産業局の万博共創ビジネス推進部は当委員会の事務局として、万博会場内の大阪ヘルスケアパビリオンに設けられる「展示・出展ゾーン」に関する企画・運営を行っています。



提供：(公社)大阪パビリオン

万博を通じて大阪府内の中小企業・スタートアップを支援

展示・出展ゾーン

大阪府内の優れた中小企業やスタートアップ300社以上が出展

展示・出展ゾーンでは、26週間の万博会期中、26の企画に合わせて毎週展示内容が入れ替わり、300社以上の大阪府内の中小企業・スタートアップが出展する予定です。各出展企業は「リボンチャレンジ」という支援企画を通じて、ビジネスマッチングやブラッシュアップ等の支援を受けながら、万博に向けて新技術や新製品の開発に取り組み、その成果を当ゾーンで披露します。



▲展示・出展ゾーンイメージ図

リボンチャレンジ

大阪産業局を含む支援機関が万博出展企業をサポート

リボンチャレンジとは、中小企業・スタートアップを支援する事業企画のことで、原則、府内に活動拠点を有する金融機関や公的な企業・団体の支援機関、合計14団体が「リボンチャレンジ実施主体」として、会期前から会期後まで各企業を支援します。大阪産業局においても大阪イノベーションハブ(OIH)、ソフト産業プラザ(TEQS)、ものづくりビジネスセンター大阪(MOBIO)がリボンチャレンジ実施主体として、万博出展企業を手厚くサポートしています。また、万博共創ビジネス推進部では、リボンチャレンジに対する共通ルールの設定や制度PR、企業募集に関するサポートなどを行っています。

万博関連のニュースレターを発行

2023年11月から約半年間、全リボンチャレンジ実施主体を取材し、各展示企画の内容やこれまでの取り組み、企業への支援内容などを紹介するニュースレターを発行しました。



▲ニュースレター取材時の様子



▲ニュースレター紙面

過去のニュースレターは以下のQRコードからご覧いただけます▼



SNSでもリアルタイムな情報を発信

展示・出展ゾーンでは、HPやニュースレターに加えて、SNS(X:旧Twitter)も活用して情報を発信しています。リボンチャレンジ実施主体や、出展企業が万博に向けて取り組む内容などをリアルタイムで更新中です。



▲展示・出展ゾーン公式X(旧Twitter)

展示・出展ゾーンの公式SNSアカウントは以下のQRコードからご覧いただけます▼



出展企業の決定・発表会の開催

各リボンチャレンジ実施主体が書類審査やコンテンツなどを通じて出展候補となる企業を選定、大阪産業局では2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会とともに全出展候補企業の展示内容等が万博にふさわしいものであるかを確認し、当ゾーンに出展する377社の中小企業・スタートアップを決定。2024年3月25日には知事・市長も招いた出展企業発表会を開催するなど、機運醸成にも力を入れています。



▲出展企業発表会の様子

NEWS LETTER

02

大阪製ブランド認定事業



#MADE IN OSAKA, JAPAN #ものづくり



府内ものづくり企業の製品を国内外にPR

事業の内容

知事がお墨付き！
大阪製ブランド製品

大阪府では、府内ものづくり中小企業の優れた技術に裏打ちされた創造力にあふれる製品を「大阪製ブランド製品」として知事が認定し、大阪のものづくりのブランドイメージを高めるとともに、府内ものづくり企業の自社製品開発を促進しています。大阪産業局では、この大阪製ブランド製品を国内外に発信する様々なプロモーション活動をしています。



150 製品以上が認定

日用品からアパレル、そして文具まで幅広い製品

2012年からスタートした大阪製ブランド認定事業は、現在まで154製品が認定されています（2024年1月末現在）。ジャンルは日用品・キッチン用品や、アパレル・ファッション小物、そしてインテリア・家具・雑貨、ビューティ・ヘルスケアなど多岐にわたります。なかでも、ものづくりによる地域活性化や社会課題の解決などに資する、他社の模範となる製品は「ベストプロダクト」として選定されます。



様々なプロモーションを展開

百貨店などへの施設展示やSNSを使ってPR

大阪製ブランドに認定されると、さまざまなプロモーション支援が受けられます。

- ・認定製品パンフレット（日英併記）を作成し、国内外に配布
- ・百貨店や商業施設などでの展示・販売を通じたプロモーション
- ・プレスリリース、ホームページ、SNS等による情報発信
- ・大阪府及び大阪産業局関係施策などへの推薦（広報誌での紹介、イベント・催事での製品紹介等）

プロモーション支援により、会社の知名度向上や従業員のモチベーションアップ、販路拡大につながったケースもあります。

西川きよしファミリーがアンバサダーに

2023年11月、大阪製ブランドの一般消費者への認知度の拡大、認定製品の魅力をPRしていくことを目的に、大阪をはじめ関西・全国で活躍する漫才師の西川きよしさんファミリーの皆さん（きよしさん、ヘレンさん、忠志さん、かの子さん）がアンバサダーに就任しました。



こんな企業が認定されています

株式会社ナカニ

手ぬぐいの産地・堺市の毛穴町で1966年に創業。海外向けの手ぬぐいとして開発した「SACUTONE」（壁掛けカレンダー型の手ぬぐい）が2015年度の大阪製ブランドに認定。

藤田金属株式会社

八尾市にて1951年、金属加工業で創業。2018年度に大阪製ブランド認定された「フライパンジュウ」は、2021年度18万個の売り上げを達成。

最新情報は公式SNSでも発信

X (旧Twitter)
@Osakasei_PRInstagram
osakasei

NEWS LETTER

03

DISCOVER MYSELF

女性起業家応援プロジェクト



#女性起業家 #創業支援

事業の内容

女性起業家応援プロジェクト「DISCOVER MYSELF」では近畿2府5県の女性を対象に、全ての女性が起業という選択肢に挑戦できる環境を構築しています。私たちが応援するのは社長ではなく、「起業家」。**【なぜあなたがやるのか】**を徹底的に問い、自分の大切な人や社会のためにビジネスを使って貢献する女性をスケールアップさせていきます。



自分を見つける旅に出よう

企画の狙い

女性が働き方として起業を選択できる社会の創造

100社を超えるサポーター(民間企業、広域支援機関、女性起業家支援団体等)・パートナー(地方自治体、地域支援機関)のみならず広域的なプラットフォームを形成することで、女性が起業にかかわる相談をできる環境を実現し、継続的な事業成長を応援していきます。

取り組み・結果

日経ウーマンオブザイヤー大賞、経済産業大臣賞など数々受賞



過去10回、1万人以上の起業を考える女性と出会い、共に学んできました。ビジネスプラン発表会「LED関西powered by 大阪信用金庫」やエントリーシート提出までにビジネスアイデアをブラッシュアップするアクセラレータープログラム「DOORS」にも力を入れています。これまで、日経ウーマンオブザイヤー大賞、経済産業大臣賞など多くの評価を得て、日本を代表する起業家として活躍している女性も輩出しています。



参加者の声



LED関西 第9回ファイナリスト
株式会社caro kyoto
代表取締役 カナタ エリカ

2年前、事業の拡大は夢物語の様な感覚でした。ですが本プロジェクトに参加させて頂く毎に、解像度が上がり鮮明なものになっていきました。ファッションの会社を経営しており、業界以外の方と知り合う機会は少ないのですが、LED関西のファイナリストとなった事で様々な業種のサポーター企業の皆様と知り合う事が出来ました。お陰で今は夢でなく目標として未来を見ることが出来ています。



LED関西 第9回ファイナリスト
Awesome! (オーサム!)
代表 西岡 幸子

私は、理系女性(リケジョ)のネットワークを活用したビジネスプランでLED関西に挑戦しました。ここで得た支援やアドバイスが、事業を動かす大きな契機となりました。今春から始まるこの事業を通して、多様なリケジョが「見える」プラットフォームとしてその魅力を発信すると同時に、新しいイノベーションが生まれる仕組みを探求していきたいと思っています。

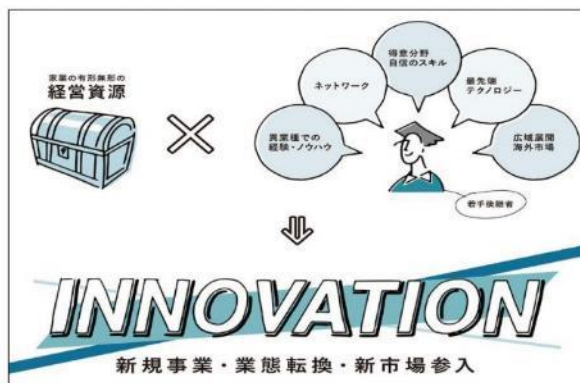
NEWS LETTER

04

ベンチャー型事業承継



起業家・ベンチャーを生み、育てる「エコシステム」の確立

#大阪産業創造館
#新事業創出
#事業承継支援

若手後継者が、家業が持つ、有形無形の経営資源を最大限に活用し、リスクや障壁に果敢に立ち向かいながら、新規事業、業態転換、新市場開拓など、新たな領域に挑戦することで社会に新たな価値を生み出すこと。ゼロから立ち上げる起業家でもなく親と同じスタイルで家業を継ぐ後継者でもない。いわば「ハイブリッド型ベンチャー」です。

企画の背景・狙い

2016年度を初年度とし近畿経済産業局が関西の創業・ベンチャー起業環境整備の加速化のため「地域で起業家・ベンチャーを生み、育てる「エコシステム」の確立」に向けてのアクションプラン取りまとめを公募しました。これに対し、提案の一つとして、事業承継時の第二創業を志す若手後継者支援するリノベーター(ベンチャー型事業承継)支援を提案、採択されました。以後、先代から受け継いだ有形・無形の経営資源を活用し、持続的な経営を実現するために新たな領域に果敢に挑戦し、社会に新たな価値を生み出す若手後継者支援に取り組んでいます。

こんな会社が参加しました

1952年に創業した突っ張り棒メーカー。三人姉妹の末っ子で家業を継ぐ気は全くなく、大学卒業後は新聞記者に。結婚を機に入社し、2015年、社長に就任。収納アイデアを集めたウェブサイトや、突っ張り棒を用いたIoT家電の開発に着手するなど、独自の事業戦略を展開。

平安伸銅工業株式会社

代表取締役 竹内 香予子

妻の祖父が1937年に創業した工具卸を継承。一時は廃業を覚悟するほどの危機に陥るが、日本最大級のアイテム数を誇るネットのホームセンター事業へと業態転換を図る。創業の地、寺町にこだわり、ユニークな採用戦略や風土も特徴。

株式会社 大都

代表取締役 山田 岳人



公益財団法人 大阪産業局 ベンチャー型事業承継担当 Tel:06-4256-3502

NEWS LETTER

05

ゲンバ男子



若い世代に製造業で働く"カッコよさ"を伝えたい。

#大阪産業創造館
#ものづくり支援

ゲンバ男子プロジェクトは、日本経済を支える中小製造業のイメージアップを図り、若手人材の雇用につなげることを目的として2013年10月にスタートした業界全体でイメージアップを図るPRプロジェクトです。

取り組み・結果

日本経済を縁の下から支える人たちを今こそリスペクトしたい。

日本経済を縁の下から支える人たちを今こそリスペクトしたい。彼らの心意やたたくまいのこよさを「ゲンバ男子」を通して発信しています。このプロジェクトは日本各地の製造業集積地の共感を呼び、会津若松市、越前市、岡崎市、春日井市、川崎市、北九州市、佐賀県、新居浜市、浜松市、福山市で各地のゲンバ男子プロジェクトを実施していただきました。

こんな会社が参加しました



株式会社 大京精研

レーザ加工、NCターレットパンチ加工を中心に精密板金・溶接加工を手掛ける。



株式会社 福島研磨

ステンレスやアルミ・鉄のTIG溶接や製品の組立てを手がける。



株式会社 京伸

一般板金加工・精密板金加工・試作板金・フレーム製品・製缶・オリジナル商品を手がける。



公益財団法人 大阪産業局 大阪産業創造館「ゲンバ男子」事務局 担当:小山、脚ノ Tel:06-6264-9922 Email:press@sansokan.jp

